

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課

担当名：野生生物担当

内線：3154

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B48	二ホンジカ捕獲促進事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	鳥獣保護対策費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律			戦略項目			
						分野施策	040104 生物多様性保全の推進		
<p>1 事業の概要</p> <p>近年、二ホンジカの生息数の増加や生息域の拡大に伴い、森林が破壊され、一部では裸地化した区域が拡大するなど、森林生態系に重大な影響を及ぼしている。このため、増加した二ホンジカの個体数を減少させるためシカの捕獲体制を強化し、森林の保全を図る。</p> <p>委託料の契約差金及び変更契約の発生に伴う減、経費節減による減</p> <p>(1) 二ホンジカ捕獲事業 24,928千円</p> <p>経費節減による減</p> <p>(3) 二ホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 202千円</p> <p>国庫補助金充当による財源更正</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>毎年約1,500頭のシカを捕獲しているが、森林被害を抑制するには至っていないため、県が捕獲事業を実施し、更に捕獲圧を高める。</p> <p>ア ニホンジカ捕獲事業 生息状況調査、捕獲計画策定、県を実施主体とするシカの捕獲 54,480千円 29,552千円</p> <p>イ ニホンジカ狩猟促進事業 狩猟におけるシカ捕獲体制の強化 5,000千円</p> <p>ウ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 シカの移動実態の把握、捕獲方法の開発 4,208千円 4,006千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア ニホンジカ捕獲事業 生息状況調査、捕獲計画策定：4月～8月、捕獲業務委託：9月～3月</p> <p>イ ニホンジカ狩猟促進事業 ニホンジカ狩猟捕獲事業委託(県猟友会に委託)：狩猟期間(11月～2月)</p> <p>ウ ニホンジカ捕獲効率向上のための技術開発 季節移動ルート・範囲の解明、森林保護柵を改良した簡易な捕獲柵の開発</p> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟や有害鳥獣捕獲が行われていない地域(鳥獣保護区、大学演習林、国有林等)において県が主体となって捕獲を行うことにより、捕獲頭数の上積みを図ることができる。</li> <li>・私的狩猟とは別に業務として捕獲を委託することにより、猟友会による捕獲を促進することができる。</li> <li>・シカの季節的な移動の解明や簡易な捕獲方法の開発により、効率的な捕獲を実施することができる。</li> </ul> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の有する先進的な捕獲技術を活用することにより、効率的な捕獲を推進する。</li> <li>・経験豊かで指導力のある狩猟者を擁する一般社団法人埼玉県猟友会と連携して捕獲を実施する。</li> <li>・農林総合研究センター森林・緑化研究所職員の活用による事業展開</li> </ul> <p>(5) 補正予算の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料の契約差金の発生に伴う減額 17,104千円</li> <li>・変更契約の発生に伴う減額 7,811千円</li> <li>・経費節減による減額 215千円</li> <li>・国庫補助金充当による財源更正 6,094千円(繰入金 国庫)</li> </ul>					
<p>2 事業主体及び負担区分</p> <p>(国1/2・県1/2)(対象事業に限る)</p> <p>(県10/10)(上記以外)</p>									
<p>3 地方財政措置の状況</p> <p>地方交付税(単位費用)</p> <p>(区分)林野行政費 (細目)鳥獣行政費</p> <p>(細目)鳥獣行政費</p> <p>(積算内容)鳥獣保護事業の実施等に関する事務</p>									
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</p> <p>9,500千円×0.5人=4,750千円</p>									
予算額		財源内訳						一般財源	補正後の予算額
		国庫支出金	繰入金						
決定額	25,130	6,094	31,224					38,558	
現計額	63,688		63,688						